

採 摭 餘 録 （其十一）

久 内 清 孝

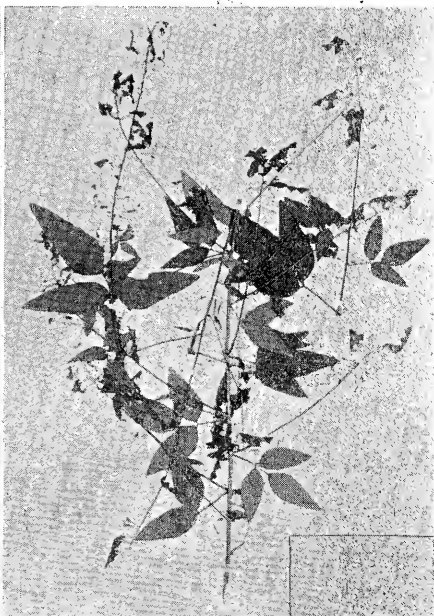
K. HISAUTI: Botanical Notes (XI).

○北米ヨリ潜入ノぬすびとはぎ

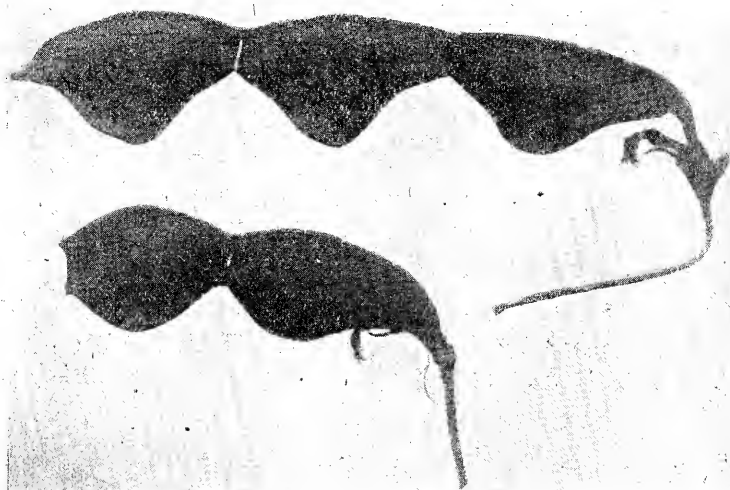
昨年ノ秋ニ大阪ノ吉野善介氏カラ數枚ノ腊葉ヲ受取ツタ。其内2種ハぬすびとはぎ屬ノモノデ其一ハあれちぬすびとはぎ（圖2, 3ノ上, 4ノ左）、其二ハひめぬすびとはぎ（圖1, 3ノ下, 4ノ右）ト夫々吉野氏ニヨリ命名サレタモノデ、共ニ外來品デ、既ニ近畿地方ニ馴化シタモノラシク、前者ハ河内國古市ニ於テ昭和15年10月13日ニ、後者ハ同年10月29日攝津國茨木ニ於テ、共ニ吉野氏ニヨリ採集サレタモノデアル。マタ、前者ハ本年2月東京科學博物館ノ主催ニヨリ行ハレタ腊葉展覽會ニ、大橋忠太郎氏ガ近江國大津東浦デ同年9月14日ニ採集サレタモノガ出品サレテ居タ。何レモ我國デハ未知ノモノデ、米國カラ潜



第1圖 ひめぬすびとはぎ



第2圖 あれちぬすびとはぎ



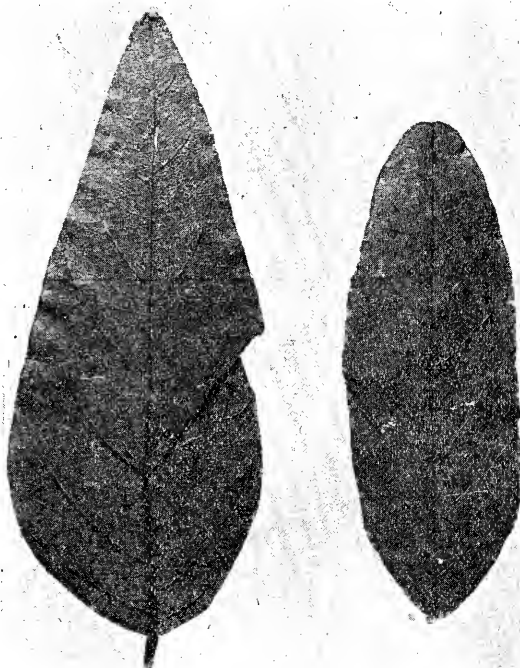
第 3 圖 あれちぬすびとはぎ(上)ト ひめぬすびとはぎ(下) ×約3.5

入シタモノト推定スル。ト云フノハ、此ノ仲間ハ北米ニ澤山ノ種類ガアリ、且之等ガ北米ノモノニ該當スルカラデアル。之等ノ學名ヲ斷定スルニ當リ、最近米國ヨリ歸ラレタ原寛博士トモ相談ハシテ見タガ、茲ニハ余一人ノ責任デ次ノ如ク斷定シテオク。

あれちぬすびとはぎ
= *Desmodium Dillenii*
DAHLST.

ひめぬすびとはぎ
= *D. rigida* DC.

此決定ヲナスニ當リテハ BRITTON & BROWN ノ北米植物志 及ビ GRAY ノ北米植物志ニヨリ、特ニ前者ノ



第 4 圖 あれちぬすびとはぎ(左)ト ひめぬすびとはぎ(右)ノ小葉片 ×約1.5

場合ニハ科學博物館所藏ノ標本トモ引合セタ。然シナガラ、米國デ Tick-trefsil ト總稱サレテ居ル此ノ一群ハ、種類ガ多ク、從ツテ面倒デアル計リデナク、原氏ノ言ニ依レバ現ニ米國デハ、専門家が専門的ニ再検討中ノモノ、由デアルカラ、余ノ決定ガ果シテ當ヲ得テ居ルカドウカ甚ダ疑ハシイガ、一先ツ余一人ノ責任デ上記ノ如ク決定シテオイタ次第デアル。

雜 錄 Miscellaneous

〇うすばあかざ、おほばあかざ（原 寛）

昭和 12 年ノ夏、北海道北見上藻琴ノ路傍ニ見馴レヌあかざノ 1 種ガ生エテキタノデ、早速採集シテ歸京後調べタ所、既ニ朝鮮滿洲カラハ記録サレテキルうすばあかざ (*Chenopodium hybridum* L.) デアル事ガ分ツタガ、恐ラク近年牧草ニデモ交ツテ移入サレタモノデアラウト思ツテ、ソノママニシテ居タ。處ガ最近東京科學博物館ノ標本ヲ見テキル内、コノモノガ既ニ明治 42 年武田久吉氏ニヨツテ石狩山ノ鼻デ採集サレ、*Ch. Bonus-Henricus* L. ト呼バレテキタ事ヲ知ツタノデココニ記録シテオク事ニシタ。元來日本植物總覽ニハ第一版以來 *Ch. Bonus-Henricus* L. ガ歸化品トシテ載ツテキルガ、東大ニハ標本ナク、ドノ地方ニ歸化シテ居ルカ疑問ニ思ツテキタガ、コレハ多分科學博物館所藏ノ上記標本ニ基イテ、根本氏ガ加ヘタモノト思ハレル。

うすばあかざハ葉ガ卵狀三角形ヲナシ、極メテ粗大ナ不齊齒ガアリ、基部ハ截形又ハ稍心臟形デ、細長イ葉柄ヲ有スルノデ著シイガ、種子モ比較的大キク（徑 1.5-2 mm）表面ガ細カク網目狀ニ凹ンデキル點デ他種ト容易ニ區別デキル。花序ハ莖頂ニデテ幅廣ク擴散スルノガ普通デアルガ、北見産デハ稍穗狀ヲナシ *f. spicatum* BECK ノ形デアツタ。多分北海道デハ處々ニ見ラレルモノデアラウ。眞ノ *Ch. Bonus-Henricus* L. ガ我國ニハイツテキルカドウカ私ハ未ダ標本ヲ見タ事ガナイ。

Chenopodium hybridum L., Sp. Pl. ed. 1, 219 (1753).

Ch. Bonus-Henricus (non L.) sensu MAKINO et NEMOTO, Fl. Jap. 1028 (1925); ed. 2, 271 (1931); NEMOTO, Fl. Jap. Suppl. 184 (1936).

Nom. Jap. *Usuba-akaza*, *Ōba-akaza*.

Hab. Hokkaido prov. Isikari: Yamano-hana (H. TAKEDA, Sep. 29, 1909, no. 29226 in Mus. Sc. Tokyo). prov. Kitami: Kami-mokoto (H. HARA, Jul. 22, 1937).

(H. HARA)